

株式会社アクアマリンパークウェアハウス

〒971-8101 福島県いわき市小名浜字辰巳町 43-9 TEL. 0246-54-3409 FAX. 0246-54-3401

●代表者：代表取締役 鈴木泰弘 ●設立：平成18年6月
●資本金：1,650万円 ●従業員：40名 ●URL：http://www.bishokuhotel.com/

「ローカルブランド」の自信と誇りを大切に、 いわきの美味しさとお客様の心をつなぐ



浜街道潮目の駅弁とカニピラフ

きっかけ・課題

当社は、太平洋を目の前に臨む小名浜港で地元いわきの美味しいごはん、テイクアウト、お土産などをお楽しみいただく、“食”をテーマとした「小名浜美食ホテル」を運営しています。平成18年の設立後、飲食店やお土産などを主に展開してきましたが、最近ではJRいわき駅を中心に、浜の名物をつめこんだ駅弁の製造・販売も手掛けています。

いわき駅では10数年ほど前にいわきの旅情を伝える駅弁

が途絶え、以降、旅の中で地元の味を楽しんでいただく機会が減少してしまいました。

そこで当社とJR水戸支社ならびにJR運輸区が協力し、新しい名物駅弁「浜街道 潮目の駅弁」を開発、販売をはじめました。

INTERVIEW



“食”の魅力はいわきの魅力。地元の復興を応援

株式会社アクアマリンパークウェアハウス 代表取締役 鈴木泰弘

今後はいわきの恵みを味わえる駅弁を皆さまに提供するだけでなく、これまでの商業施設も大幅に事業転換し、道の駅ならぬ「浜の駅」へのリニューアルを視野に入れ、流通・製造の両側面で地元いわきの復興を“食”で担っていきたいと考えています。電車でいわきへ観光に訪れるお客様、地元のお客様にも、バリエーションが増えた「いわきの駅弁」をぜひ楽しんでいただきたいと思います。

実施内容

取引先開拓と、大量注文を視野に入れた設備投資

現在、「浜街道潮目の駅弁」のほかに「ういの貝焼き弁当」や名物のカジキを使った「ソースカツ丼」など、5種類を製造・販売しています。これらは主に業務用食品製造機械を使用し大量生産をしますが、それを保存するための設備が必要になります。

今後、首都圏や関西などの展開を視野に入れた時、取引の拡大と共に製造工場の拡張や大量注文に対応するための生産機械と大型冷蔵倉庫の導入が必要不可欠になるため、申請に至りました。

事業の成果

大型機械の導入で生産性とストック数が飛躍的に向上

大量生産が可能になる生産機械を導入した最大のメリットは、生産量の安定化と食品製造過程で生ずる菌を抑制し、安心・安全な駅弁の製造が容易になった点です。このことにより、大手流通会社との取引も容易となり、工場検査も95～100点といった高評価をいただいています。

さらに大型の冷凍倉庫を備えたことにより、ストックできる数が飛躍的に拡大し、大量受注と生産がスムーズに流れるようになりました。

このことで積極的な展開が可能になり、様々な展示会や販売会にも参加することができるようになりました。



FUTURE OUTLOOK

いわきを盛り上げるために手を取り、共にあゆむ

当社は、東日本大震災の津波で建物が全壊する被害がありました。それまで軸としていた飲食店とテナントのお土産の商業施設に加え、営業再開後はお客様の流れの減少を考慮し製造業に参入しました。

現在はJR東日本いわき駅の乗務員の皆さまと共同開発した駅弁のほかに、いわきの恵みをふんだんに使った駅弁開発・販売に力を入れています。

これからも“食”を通じて、地元いわきを盛り上げていきたいと思っています。

